

歯の保存のために 今 もう一度学びませんか

—感染処置歯の考え方と再治療を効果的に行うための「技」を習得—

3days training course for retreatment of clinical endodontic

■講師 山田國晶 Kuniaki Yamada とスタッフ

■概要

歯科治療の発展には、目を見張るものが数多くあります。しかし、その中の1つであるインプラント処置の進化と、歯の保存の基準などが大きく変化しました。また、「今」臨床の中で振り返るべき処置点が、数多くあると反省させられております。本コースでは、感染処置歯の考え方とその対処法、再治療を効果的に行うための「技」について臨床を振り返り、もう一度、歯の保存について根管処置歯の予後から考察を行ったことより、実際に臨床に役立つ手技を会得していただきます。コースは、プラスチック弯曲根管模型と抜去歯数本を用いた実習を取り入れた実践的なコース内容にて開催いたします。

■研修内容

1. 感染根管歯の基本的な考え方とその対応
2. 弯曲根管の見直しと攻略法そして、原理と形
3. 上手に拡大・形成する為の器具・器材とその手順
4. 根管充填の考え方と器具・器材そして術式
5. 再治療を効果的に行う為の「技」と「器具」
6. 水酸化カルシウム応用の応用と効果的に使用する為
7. 薬液の臨床応用とその効果的使用法
8. 抜去歯での実習＝根管拡大から根管充填まで
9. プラスチック弯曲根管模型デモ・実習

■ポイント

感染根管の考え方からその処置について臨床的に効果的な「技」が習得可能。また、悩み多き薬液と水酸化カルシウム応用の応用、そして、効果的に実践的な使用法がマスターできる。

■受講者の声

誤った使い方や知らなかったことが、習得できて良かった。
最新の器材を用いた実習が大変やくにたった。また、垂直加圧法が、なぜあめのかひそして、必要なのが、理解できた。

■定員 8名

■日時 3日間2012年度 1. 2012年8月26日(日) 10:00～17:00 2. 2012年9月30日(日) 10:00～17:00
3. 2012年10月21日(日) 10:00～17:00
3. 2012年11月18日(日) 10:00～17:00
2013年度1. 2013年8月11日(日) 10:00～17:00 2. 2013年9月1日(日) 10:00～17:00
3. 2013年10月6日(日) 10:00～17:00

■会場 愛知・名古屋市内

■受講料

210,000円(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)

◆分割払制度を利用した場合は、毎月のお支払額★★★円(★★回分割)で受講できます。(詳細は、★ページをご参照ください。)